

# 事業計画書

■当初 □最終

作成年月日 2020年12月9日

法人名	株式会社トータルウイン
代表者職名前	代表取締役 藤岡秀行
担当省名	藤岡秀行 連絡先

## 1 協議事項

協議の種類	計画の概要	本計画書に記載が必要な項目														
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
協賛事項	■ 新規事業所の開設 (事業所の移転) (大規模な事業内容変更)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	□ 事業の追加	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	□ 定員の変更	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	□ 建物の構造・設備の変更	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

## 2 事業実施に係る動機

現在、3つの放課後等デイサービスを運営している中で、子ども達の社会性・コミュニケーションスキル向上の必要性を強く感じています。支援している中で、子ども達のスキルは「遊びの中」で大きく育つことを日々の支援の中で知りました。現代の子ども達にかけている遊び(ゲーム・PC・タブレット等以外)の中で社会性・コミュニケーションスキルを大きく育てていきたいと考えています。

## 3 提供サービス

種別	① 放課後等デイサービス	割合	85%	④	提供日	
	② 児童発達支援	割合	15%	⑤		
	③	割合		⑥		
理念	全従業員及び利用者の物心両面の幸せを追求し地域社会に貢献する会社を目指します。私達は仕事を通じて世の中や社会の役に立ち、関わるすべての人を笑顔・幸せにしています。					
目標	遊びを「探す・見つける・生み出す・追及する・やり切る」中で、子ども達の社会性・コミュニケーションスキルを向上し、将来に向けて「創造する力」を育てる。支援者のスキル向上を図り、質の高い療育を実現・提供する。					
同種のサービス	府中市にてきらり(児童発達支援/放課後等デイサービス)きらりあつぷ(放課後等デイサービス)きらりぶらす(放課後等デイサービス)の3事業所を運営しています。					

## 4 施設の概要【平面図は裏面のとおり】

土地	所在地	広島県福山市駅前町江良154-1	用途区域	準工業地域	意見		
所有者	株式会社トータルウイン	抵当種	あり				
名称	あそLABO						
所有者	株式会社トータルウイン	抵当種	あり				
用途	放課後等デイサービス	構造	木造				
階層	1	地上	1階	地下	階		
建築面積	180.27	延面積	180.27	年			
事業の概要	①	種別	放課後等デイサービス			今回計画の放課後等デイサービスは、建築基準法上の用途「児童福祉施設等」に該当しますが、用途を変更する床面積が200㎡以下のため、建築確認の手続きは不要です。 なお、手続きが不要な場合であっても、建築士等に相談し、建築基準法に適合する計画とすること。 防火対象物使用開始届出書及び消防設備等設置届出書(消火警及び防煙等)が提出され、それに伴い検査も実施しています。 検査結果は良好で、消防法令上支障はありません。	
		手続	使用する階	1階	専有面積		129.06
		収容人員	15人	内訳	職員 5人		利用者
②	種別						
	手続	使用する階					
	収容人員		内訳	職員	人	利用者	人
③	種別						
	手続	使用する階					
	収容人員		内訳	職員	人	利用者	人
申請種別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 用途変更 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
内容	現況物件(居宅)を購入し、放課後等デイサービス事業を行います。使用面積200㎡未満につき用途変更不要。建築基準法・消防法確認については担当課に建築士より協議済み(消防より防火設備必要指示あり施工予定)						

## 5 主要取引先

上段:取引先	下段:所在地	割合	掛取引	回収・支払の条件	意見
		%	%	日 〆	日回収
		%	%	日 〆	日回収
		%	%	日 〆	日回収

## 6 従業員

職種	雇用形態	名前	年齢	月給	意見
管理者	常		30	25万円	
児童発達支援管理責任者	常			万円	
保育士	常 □ 非		27	25万円	
児童指導員(公認心理士)	常 □ 非		30	20万円	
保育士OR児童指導員	常 □ 非	募集中		10万円	
保育士OR児童指導員	常 □ 非	募集中		10万円	
	常 □ 非			万円	
	常 □ 非			万円	
人件費	末日	15日	支払	ボーナス	6月 12月

様式第2号-1

受理	12月10日
関係者への意見聴取	<input checked="" type="checkbox"/> 市 建築指導課 <input type="checkbox"/> 消防局 予防課 <input type="checkbox"/> 〃 <input type="checkbox"/> 〃 <input type="checkbox"/> 〃 <input type="checkbox"/> 〃
回答	3月5日

## 7 借入金の状況

金融機関	理由	借入残高	年間返済額	意見
	物件取得費等	4000万円	266万円	
		万円	0万円	
		万円	万円	

## 8 必要な資金と調達方法

必要な資金	金額	調達方法	金額	意見
土地	3400万円	補助金	0万円	
建物	0万円	自己資金	2000万円	
設備	800万円	借入金	4000万円	
車両	300万円			
その他	0万円			
運転資金	1500万円			
合計	6000万円	合計	6000万円	

## 9 事業の見直し

	1月目	2月目	3月目	1年後	意見
利用者見込 A	6人	6人	8人	10人	
日平均利用額 ※1 (1事業所当たり)	6.1万円	0.1万円	8.1万円	10.2万円	
収入計 ①	0万円	0万円	116万円	194万円	
支出計 ②	131万円	230万円	161万円	161万円	
収支 ①-②	-131万円	-230万円	-45万円	33万円	
収入 B	万円	万円	万円	万円	
売上高 ※3	万円	万円	万円	万円	
支出 C	万円	万円	万円	万円	
必要経費	万円	万円	万円	万円	
最賃確保状況(A型)	円	円	円	円	

※1 日平均利用額(1事業所当たり)の積算根拠

基本報酬(サービス費) + 全ての加算について記載すること

放課後等デイサービス:基本報酬(区分2-1)812、児童指導員等配置加算9児童指導員等加算(1)208追加加算54×2施設改善加算(1)8.1%特定施設改善Ⅱ0.5%=10,187円/日

※2 給付金は、サービス提供月の翌々月に振り込まれるので留意すること(例:4月サービス提供→5月請求→6月振込)

※3 主な受注作業取引先

上段:受注先	1月当たりの受注額	契約書の有無	回収・支払いの条件
下段:所在地	万円	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	

※3 主な事業所内生産品

生産品	1時間単価	計算式	1月当たりの生産額
	円 ×	H ×	日 × 人 = 万円
	円 ×	H ×	日 × 人 = 万円

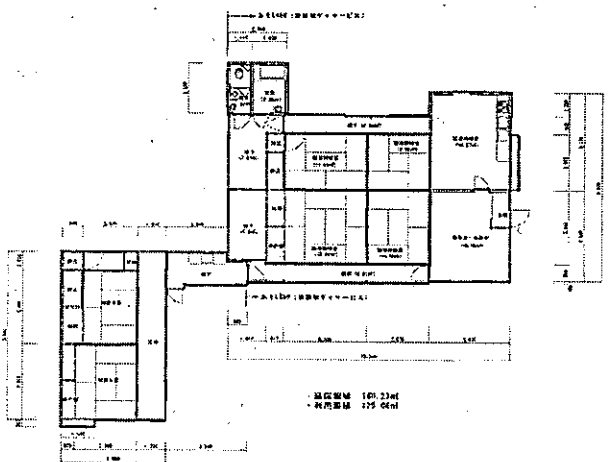
※4 諸経費:消耗品、光熱水費、車両管理費、研修費、宣伝広告費、租税公課、社会保険料、レンタル料等

10 付近図

小学校区 <b>駅家小</b>	人口 <b>10893</b> 人	事業所数 <b>2</b>	事業所 <b>20</b> 人	意見
付近図掲載せず 凡例 ○ ... 事業所 × ... 同種の事業所 △ ... 一次避難先 □ ... 二次避難先				

11 平面図

※平面図のデータを貼付



施設面積 169.22㎡  
利用面積 125.04㎡

意見

12 事業計画

営業日 月～金・第一土曜日 休業日 第一以外の土・日・祝祭日・盆正月・予定表による 営業時間 平日9:30～18:30 平日以外8:30～17:30 サービス提供時間 平日 15:00～18:00 平日以外 10:00～18:00 利用定員 10名 送迎 有り *5年間、児童発達支援・放課後等デイサービスを3事業所運営している中で感じていることは、コミュニケーションスキル・ソーシャルスキルに課題を抱える児童が多く、保護者・学校からもニーズも高い。今回、計画エリアで開設することにより、これまでの経験を活かし、児童数が多く支援を受けられず困っている方のニーズを満たすことができる。 *子ども達にとっては、遊びの中から学んだ成功体験が、身につけやすく実践に活かされやすいことを把握している。子どもにとって、遊びの要素を取り入れた支援を提供する。(具体的には、DIY・制作・野菜作り・調理・体験学習・お出掛け等を活動として行う。)特に、住宅地や商業施設が多い地域では、遊ぶ場所・物・事が限られている場合が多く、他者との関わりを意識した遊びや体験遊びなどの提供が利用児童にとって大きなメリットになる。 *同一経営の他事業所間で行事を企画し、日頃支援をしているスキルの実践の場(普段会わない子ども同士の中で)を持つ。また、保護者同士の情報共有の場・懇親の場として役立てることが出来る。	具体的な支援内容として、DIY・制作・野菜作り・調理・体験学習・お出掛け等の活動を挙げられているが、日々、利用者に応じて、個々の活動内容を設定するのであれば、職員配置が手薄いように感じられる。利用者支援の提供体制についての考えを示すこと。
---	---

13 利用者処遇

*送迎 *下校時間に合わせて学校までお迎えに上がる。日々の様子を学校と共有することが出来る。 *保護者支援 *平日・長期休暇時などに応じたサービス提供時間を設定。特に、長期休暇時には、保護者の就業時間に考慮し、平常時の学校を鑑みた時間を設定。 *利用児童の情報共有等 *モニタリングを年二回以上実施。その他、電話・ライン・連絡ノート・通信等を使用して積極的に関わる。 *保護者の同意を得て、学校の担任等と利用児童についての意見交換などを行う。 *学校へ行く週間や参観日などを利用し、様子を見に行く。 *支援 *古民家・畑・果樹・広い庭で、のびのびと過ごすことが出来る。 *家庭は全室が繋がっており、必要によって閉鎖できるため、広く使用できるし個別対応もできる。 *異学年交流の中で、遊びを通してコミュニケーションスキル・ソーシャルスキルを支援。 *学習時間を統一し、宿題に気持ちを向けやすいようスケジュールを工夫。 *職員体制 *職員体制を充実。シフト制ではなく、毎日同じ職員が支援に当たる。利用児童の特性を把握しやすく、充実した支援が可能。	意見
---	----

14 防災計画

・津波浸水対策 ・非常時災害避難対策 職員に対しての非常時対策訓練、定期的な避難訓練の実施	意見
--	----

15 一日の流れ

9時30分～12時00分	出勤・朝礼・支援準備・事務業務	意見
12時00分～13時00分	休憩	
13時00分～15時00分	送迎	
15時00分～18時00分	サービス提供	
18時00分～18時30分	送迎	
18時30分～	退勤	
時 分～時 分		

# 事業計画書

□当初 ■最終

作成年月日	2021年 3月17日
法人名	株式会社トータルウィン
代表者職名前	代表取締役 藤岡秀行
担当者名	藤岡秀行 連絡先

## 1 協議事項

協議の種類	計画の概要	本計画書に記載が必要な項目														
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
協働の種類	新規事業所の開設 (事業所の移転) (大規模な事業内容変更)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	事業の追加	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	定員の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	建物の構造・設備の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

## 2 事業実施に係る動機

現在、3つの放課後等デイサービスを運営している中で、子ども達の社会性・コミュニケーションスキル向上の必要性を強く感じています。支援している中で、子ども達のスキルは「遊びの中で」大きく育つことを日々支援の中で知りました。現代の子ども達にかけている遊び(ゲーム・PC・タブレット等以外)の中で社会性・コミュニケーションスキルを大きく育てていきたいと考えています。

## 3 提供サービス

種別	① 放課後等デイサービス	割合	85%	提供日
② 児童発達支援		割合	15%	月 火 水 木 金 土 日
③		割合		

理念 全従業員及び利用者の中や社会の役に立ち、関わるすべての人を笑顔・幸せにします。

目標 遊びを「探す・見つける・生み出す・追及する・やり切る」中で、子ども達の社会性・コミュニケーションスキルを向上し、将来に向けて「創造する力」を育てる。支援者のスキル向上を図り、質の高い療育を実現・提供する。

同種のサービス 府中市にてきらり(児童発達支援/放課後等デイサービス)きらりあっぷ(放課後等デイサービス)きらりがらす(放課後等デイサービス)の3事業所を運営しています。

## 4 施設の概要[平面図は裏面のとおりに]

施設概要	土地	所在地	用途区域	準工業地域	主な修正点	
施設概要	所在地	広島県福山市駅前町江良154-1				
	所有者	株式会社トータルウィン	用途区域	準工業地域		
	名称	あそLABO	抵当権	あり		
	所有者	株式会社トータルウィン	抵当権	あり	建築士に相談しながら、建築基準法に適合するように運営します。	
事業概要	用途	放課後等デイサービス	構造	木造		
	階層	1 地上 1階 地下 1階	建築年	1928		
	建築面積	180.27	延面積	180.27		
	①	種別	放課後等デイサービス			
内容	手続	使用する階	1階 専有面積	129.06		
	収容人員	15人 内訳	職員	5人	利用者	10人
	②	種別				
	手続	使用する階	階	専有面積		
③	種別					
手続	使用する階	階	専有面積			
収容人員		内訳	職員		利用者	
申請種別	□新築 □増築 □用途変更 ■その他					
内容	現況物件(居宅)を購入し、放課後等デイサービス事業を行います。使用面積200㎡未満につき用途変更不要。建築基準法・消防法確認については担当課に建築士より協議スミ(消防より防火窓設置必要指示あり施工予定)					

## 5 主要取引先

上段:取引先	割合	掛取引	回収・支払の条件	主な修正点
下段:所在地	%	%	日 〆	日回収
	%	%	日 〆	日回収
	%	%	日 〆	日回収

## 6 従業員

職種	雇用形態	名前	年齢	月給	主な修正点
管理者	常		36	25万円	
サービス管理責任者	常			万円	
保育士	常		27	25万円	
児童指導員(公認心理士)	常		30	20万円	
児童指導員	常	A		10万円	
児童指導員	常	B		10万円	
	常			万円	
	常			万円	
人件費	末日	18日	支払	ボーナス	6月 12月

様式第2号-2

受付印

2021.3.18受付

## 7 借入金の状況

金融機関	理由	借入残高	年間返済額	主な修正点
	物件取得費等	4000万円	266万円	
		万円	0万円	
		万円	万円	

## 8 必要な資金と調達方法

必要な資金	金額	調達方法	金額	主な修正点
土地	3400万円	補助金	0万円	
設備	0万円	自己資金	2000万円	
建物	800万円	借入金	4000万円	
設備	300万円			
車両	0万円			
その他	0万円			
運転資金	1500万円			
合計	6000万円	合計	6000万円	

## 9 事業の見通し

	1月目	2月目	3月目	1年後	主な修正点
利用者見込 A	6人	6人	8人	10人	
月平均利用額 ※1 (1人当たり)	6.1万円	6.1万円	8.1万円	10.2万円	
収入	0万円	0万円	116万円	194万円	
支出	0万円	0万円	0万円	0万円	
収入計 ①	0万円	0万円	116万円	194万円	
人件費	0万円	150万円	90万円	90万円	
旅費・交通費	1万円	1万円	1万円	1万円	
賃借料	5万円	5万円	5万円	5万円	
通信費	2万円	2万円	2万円	2万円	
諸経費 ※4	100万円	49万円	40万円	40万円	
支払元金利息	23万円	23万円	23万円	23万円	
支出計 ②	131万円	230万円	161万円	161万円	
収支 ①-②	-131万円	-230万円	-45万円	33万円	
収入 B	万円	万円	万円	万円	
売上高 ※3	万円	万円	万円	万円	
支出 C	万円	万円	万円	万円	
利用者資金	万円	万円	万円	万円	
必要経費	万円	万円	万円	万円	
最悪確保状況(A型)	円	円	円	円	

※1 月平均利用額(1人当たりの種算種概)

基本報酬(サービス費)÷全ての加算について記載すること

放課後等デイサービス:基本報酬(区分2-1)612、児童指導員等配課加算9児童指導員等加算加算(1)209通知加算54×2超過加算(1)194特定通知加算0.054×10,187円/日

※2 給付金は、サービス提供月の翌月に振り込まれるので留意すること(例:4月サービス提供→5月請求→6月振込)

※3 主な受注作業取引先

上段:受注先	1月当たりの受注額	契約書の有無	回収・支払いの条件
下段:所在地	万円	□あり □なし	

※3 主な事業所内生産品

生産品	1時間単価	計算式	1月当たりの生産額
	円 ×	H ×	人 = 万円
	円 ×	H ×	人 = 万円

※4 諸経費:消耗品, 光熱水費, 車両管理費, 研修費, 宣伝広告費, 租税公課, 社会保険料, レンタル料等

10 付近図

小学校区 <b>駅家小</b>	人口 <b>10893</b> 人	事業所数 <b>2</b>	事業所 <b>20</b> 人	主な修正点
付近図掲載せず				
凡例 ○ … 事業所 × … 同種の事業所 △ … 一次避難先 □ … 二次避難先				

11 平面図

※平面図のデータを貼付		主な修正点
平面図のデータ: 延床面積 130.21㎡, 総床面積 125.06㎡		

12 事業計画

営業日 月～金・第一土曜日 休業日 第一以外の土・日・祝祭日・盆正月・予定表による) 営業時間 平日 8:30～18:30 平日以外 8:30～17:30 サービス提供時間 平日 15:00～18:00 平日以外 10:00～18:00 利用定員 10名 送迎 有り	主な修正点 活動日程に応じて集団活動として取り組みます。日々、利用者に応じて、細々の活動内容を設定することは想定しておりません。
*5年間、児童発達支援・放課後等デイサービスを3事業所運営している中で感じることは、コミュニケーションスキル・ソーシャルスキルに課題を抱える児童が多く、保護者・学校からもニーズも高い。今回、計画エリアで開設することにより、これまでの経験を活かし、児童数も多く支援を受けられ困っている方のニーズを満たすことができる。 *子ども達にとっては、遊びの中から学んだ成功体験が、身につけやすく実践に活かされやすいことを把握している。子どもにとって、遊びの要素を取り入れた支援を提供する。(具体的には、DIY・制作・野菜作り・調理・体験学習・お出掛け等を活動として行う。)特に、住宅地や商業施設が多い地域では、遊ぶ場所・物・事が限られている場合が多く、他者との関わりを意識した遊びや体験遊びなどの提供が利用児童にとって大きなメリットになる。 *同一経営の他事業所間で行事を企画し、日頃支援をしているスキルの実践の場(普段会わない子ども同士の中で)を持つ。また、保護者同士の情報共有の場・懇親の場として役立てることが出来る。	

13 利用者処遇

*送迎 *下校時間に合わせて学校までお迎えに上がる。日々の様子を学校と共有することが出来る。 *保護者支援 *平日・長期休暇時などに応じたサービス提供時間を設定。特に、長期休暇時には、保護者の就業時間に考慮し、平常時の学校を考慮した時間を設定。 *利用児童の情報共有等 *モニタリングを年二回以上実施。その他、電話・ライン・連絡ノート・通信等を使用して積極的に関わる。 *保護者の同意を得て、学校の担任等と利用児童についての意見交換などを行う。 *学校へ行く道案内や参観日などを利用し、様子を覗く。 *支援 *古民家・畑・果樹・広い庭で、のびのびと過ごすことが出来る。 *家裏は全室が繋がっており、必要によって開閉できるため、広く使用できるし個別対応もできる。 *異学年交流の中で、遊びを通してコミュニケーションスキル・ソーシャルスキルを支援。 *学習時間を統一し、宿題に気持ちを向けやすいようスケジュールを工夫。 *職員体制 *職員体制を充実。シフト制ではなく、毎日同じ職員が支援に当たる。利用児童の特性を把握しやすく、充実した支援が可能。	主な修正点
---	-------

14 防災計画

・津波浸水対策 ・非常時災害避難対策 職員に対しての非常時対策訓練、定期的な避難訓練の実施	主な修正点
--	-------

15 一日の流れ

9時30分～12時00分	出勤・朝礼・支援準備・事務業務	主な修正点
12時00分～13時00分	休憩	
13時00分～15時00分	送迎	
15時00分～18時00分	サービス提供	
18時00分～18時30分	送迎	
18時30分～	退勤	
時 分～時 分	退勤	